

## 体育祭（１）

9月30日（金）に抜けるような青空のもと、本校の第74回の体育祭が開催されました。

まずは、各学年を半分に分け、縦割りでを行っている全校生による紅白対抗戦では**白組が優勝**。普通科学年ごとのクラス対抗総合では**1年生はH組、2年生はD組、3年生はE組が優勝**。3学年2クラスずつの**体育科6クラス対抗での総合では1年B組が優勝**しました。おめでとうございます！

今年度はひとことで言うならまさに**一体感のある体育祭**となりました。**クラスとしての一体感。学年としての一体感。体育科としての一体感。部活動の部としての一体感。生徒と教職員の一体感。市尼全体としての一体感**。昨年度はコロナ禍でやむを得ずに学年ごとの実施というのもあり、全校生が一堂に会して実施できる素晴らしさを体感しました。

持てる身体能力を生かした、かなりハイレベルな体育科の集団行動やダンス、2年生のよさこいソーラン、1年生の市尼体操などの団体演技はもちろん、3年生のクラス対抗の大縄跳びなどの団体競技も**仲間と力を合わせる、心（気持ち）を合わせることを理屈でなく体感しながら学べる機会**となりました。

練習を何度か見ましたが、この体育祭を目標に、限られた時間の中でいろいろな技や動きを身につけたり、仲間と動きを合わせたり、音楽に合わせてリズムカルにキレ良く体を動かしたり、腰を落として低い姿勢になる技を身につける中で、日ごろ使わない筋肉を使うことから起こる筋肉痛を克服したり、旋回する縄に合わせて連続で跳ぶタイミングを身につけたり。これらのことに**必要な時間は個々の生徒によって様々です。その方法も仲間との励まし合いで自分の力を高め、技を身につけたり課題を克服する。早朝練習や放課後練習、家庭練習などを繰り返すことで身につけたり、克服するなど様々です。この練習過程が生徒の心と体を成長させてくれます。**

当日は、こういった個人や集団による**本気の練習の成果**が、全校生や教職員、保護者の方等が観覧している**本番の緊張感の中で発揮され、観覧している側にも感動を与えてくれました**。中には涙ぐんでいる方もおられました。演技や競技を行った生徒たちも、その表情から確かな充実感、満足感、達成感を味わうと同時に**仲間との一体感**を味わったことが感じられました。

理屈ではなくこういった**体験を通して、目標に向かって全力を尽くすことの大切さ、仲間の大切さとお互いがかげがえのない存在であることを生徒たちは体感しながら学んでいきます。**

こうした意味からも体育祭などの学校行事は大変意義あるものだと考えます。











